

日本政治学会 会報

The JPSSA News

No. 34

DEC. 1997

日本政治学会創立の時

齋藤 眞

今からほぼ半世紀前、1948年11月の日本政治学会創立の時のことを思い起せ、とのことである。記憶力悪い身のことゆえ、すべておぼろげにしか思い浮かばない。

創立総会は、東大本郷の山上会議所で昼前より行われたが、発起人中心の比較的小人数のものであった。南原繁先生を中心に、九大の今中次麿、慶應の潮田江次、同志社の田畑忍、早稲田の吉村正先生など各大学のお名前は存じていたがお顔は初めて拝見する先生方、そして世話役の堀豊彦先生を初め東大の政治学関係の先生方が、中央の机を囲まれていた。日本の政治学を代表する先生方が並び、何か圧倒される思いがしたのは鮮明に覚えている。なお、午後の創立記念講演会は、教室で行われ、広く公開され学生も多く聴講していた。

この創立総会の底にあるものとして、私なりに二つのことが感じられた。一つは、小野塚先生を中心にした「政治学研究会」が核となったにせよ、この日本政治学会は、国公立を問わず、全国的な研究者が切磋琢磨しつつ協力する場・組織として出発し、発展しようという意識である。もう一つは、敗戦後の新しい時代にあって、前年丸山眞男先生が鋭く提示された科学としての政治学の樹立、現実政治との関わりへの意識である。

御殿と称されるが極めて質素な古い木造の薄ら寒い建物の中であつまく誕生した日本政治学会は、今や齢50にならんとし、会員数は1500に及ぼんとしている。今、新しい世代により、新しい世紀に向かって、政治学への新しい意識が誕生しつつあるのであろう。

1999年度 『年報政治学』 論文公募について

1999年度年報委員長 加茂利男

1999年度の「年報政治学」の論文公募要領が下記の通り決まりましたので、お知らせいたします。

記

1 特集タイトル：発行年次・日本政治学会創立50周年（98年）との関連などを考え、99年年報は特集を1本とし、「20世紀の政治学」を特集タイトルとします。公募論文もこのテーマに沿った論文を募集致します。

内容は、政治学の方法・ディシプリン論、20世紀の重要な政治トピックと政治学研究の関連など、どのような角度から書かれたものでも受け付けます。

2 分量・形式等：今回は収録論文数が多くなることが予想されるため、分量は20,000字以内とさせていただきます。フロッピー（DOS V形式、テキスト・ファイル）とハード・コピー（A4 40字×30行）3部をご提出下さい。

3 応募登録・論文提出締め切り：

応募希望の会員は、1998年3月末日までに、同封申込用紙で応募登録して下さい。（封書の表に「年報政治学論文公募」と朱書して下さい。）

また、論文の最終締め切りは、1998年11月末日です。

応募登録および論文の送付先は、〒558-8585（98年2月より）大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学法学部 加茂研究室（tel.06-605-2336 email tkamo@law.osaka-cu.ac.jp）です。

4 論文審査について：

公募論文は、年報委員会のもとに設置する審査委員会の審査を経て、年報委員会で採否を決定します。なお、審査委員会が執筆者に手直しを求めることもあります。

1998年度 研究会企画に関するお知らせ

1998年度企画委員長 渡辺 浩

<委員会の構成について>

来年10月に京都の同志社大学で開かれる研究会のための、1998年度企画委員会は、次の会員を委員として発足致しました。

飯島昇蔵（早稲田大学）、飯田文雄（神戸大学）、伊藤彌彦（同志社大学）、後房雄（名古屋大学）、大串和雄（国際基督教大学）、小島朋之（慶應義塾大学）、古城佳子（東京大学）、砂田一郎（学習院大学）、高橋直樹（東京大学）、平野浩（明治学院大学）、御厨貴（東京都立大学）、渡辺浩（東京大学）。

<自由論題公募について>

企画委員会の決定により、今回も、「自由論題」での報告を、会員の方々から、下記の要領で募集致します。御希望の方は、是非、御応募ください。但し、御応募の採否については、企画委員会に御一任頂きます。その点、予め御了承ください。

- ・応募資格：日本政治学会会員であること。
- ・報告条件：未発表の内容であること。
：1998年9月15日までに、報告論文を提出すること。
- ・応募の際の記入事項：題名・内容要旨（2000字程度）・氏名・所属・住所・電話番号。
- ・応募先：113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大

学法学部研究室 渡辺浩
・締切：1998年1月31日（消印有効）

御提案のある方は、下記まで、どうぞお知らせください。

＜研究会の主題について＞
98年度日本政治学会研究会の、共通論題もしくは分科会で採り上げるべき主題について、特に

・宛先：113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学法学部研究室 渡辺浩
・締切：1998年1月31日

研究業績自己申告のお願い

1998年文献委員長 加藤秀治郎

政治学会会員の皆様に、例年のお願いを申し上げますの季節となりました。

ご存じの通り、『年報 政治学』は前年一年間の日本の政治学会の動向を紹介する「学界展望」のページを設けております。これは、会員の中から選任された各研究分野の文献委員が、専門分野別に執筆するものです。

つきましては、ご多忙のところ恐縮に存じますが、執筆の参考にさせていただきたく、この一年間に公刊されましたご自身の主要な研究業績（1、2点）を、各業績の専門分野をご指定のうえ、同封の用紙により、下記の要領で文献委員会に申告くださいますよう、お願い申し上げます。

その際、同業績の抜刷りやコピー等も出来るだけお送りいただきますよう、併せてお願い申し上げます。多くの文献を探索・入手し、読んでいく文献委員の作業をお察しいただき、ご協力賜ればまことに幸いです。

なお、紙幅の制約上、自己申告いただきました業績のすべてにつき、取り上げることはできませんことを予めおことわりしておかなければなりません。この点、どうかご海容下さいますようお願いいたします。

記

申告対象期間：1997年1月1日から同年12月31日までに公刊された業績

締切り：1998年1月24日（消印有効）
（期限を厳守下さい）

送付先：〒603 京都市北区上賀茂本山
京都産業大学外国語学部 加藤秀治郎
（学会事務局とお間違えのないようご注意ください）
（予算の都合上、封筒、切手は各自でお願いいたします）

1997年度 第1回理事会記録

日時 1997年6月14日（土）午後1時から3時
場所 学士会館分館（東京都文京区）

1996年度第1回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

小林97年度委員長より、97年度研究会のプログラムがおおむね前回報告の通り固まったこと、報告レジュメがほぼ出そろったこと

が報告された。

渡辺98年度委員長より、現在選考中の企画委員を10月の理事会で報告する予定であること、五十周年記念の企画を工夫したいと考えていることが報告された。

(2) 文献委員会

北住97年度委員長（欠席のため佐々木理事長代読）より、7月5日を締め切りとして学界展望の原稿を集めていることが報告された。

(3) 年報委員会

五百旗頭 97 年度年報委員長より、7月上旬を最終締め切りとして、研究会論文を集めていることが報告された。

北岡 98 年度委員長より、公募論文に関して、「日本外交におけるアジア主義」には2名、「日本政党史の諸問題」には10名の応募申告があったこと、5月に研究会合宿を行ったことが報告された。

加茂 99 年度委員長より、この号から特集2本立て方式をやめ、特集テーマと自由テーマの公募論文で構成することとした旨提案があり、議論の結果、レフェリー制の運用について工夫し、問題があれば見直すことを条件に新方針をとることが承認され、書店との交渉を行うことになった。年報の特集テーマは「20世紀政治と政治学」とし、内容的には、①20世紀の政治トピックとの関連において政治学のあり方を検討すること、②20世紀に現れた政治学について方法論的に再検討することの2つを柱に検討していること、また五十周年企画に関連した講演録等の掲載を検討していることが報告された。さらに年報委員は、山川雄巳（関西大学）、足立幸男（京都大学）、千葉真（国際基督教大学）、新川敏光（北海道大学）、後房雄（名古屋大学）の各会員に委嘱したことが報告され、承認された。

(4) 国際交流委員会

大嶽委員長より、アメリカ政治学会との交流に関しては、渡米する三人の会員について旅費のめどがついたこと、現在進めている ECPR との共同研究では、日英両文での出版計画が軌道に乗り、政治思想に関する次の共同研究についても、予備的な研究会を準備中であり、来年秋には渡欧して本格的に共同研究を開始する予定であること、韓国との交流に関しては資金の確保に務めていることが報告された。またネパール政治学会からの交流申し込みに関して、再度先方より連絡があった旨の報告があり、若干の意見交換がなされた。

国際交流に関連して、佐々木理事長より8月の韓国における IPSA の総会時に、council meeting が開催されるので、日本からも佐々木理事長、村松顧問、蒲島理事が出席すること、旅費の一部の支出を学会に要請する可能性があることが報告され、了承された。

(5) 選挙管理委員会

的場委員長より、5月29日に投票用紙を

1,374名に発送し、6月末日の締め切りに向けて投票が行われていること、開票は7月12日に行う予定であることが報告された。また16名について宛先不明で返送されたが、調査のうえ全て再発送したことが報告された。これについて事務が繁雑であるので、次回からは返送された分の再発送をしない方針が提案され、承認された。

2. 五十周年記念事業の件

五百旗頭五十周年記念事業特別委員長より、5月24日に京都で佐々木理事長、梅津理事、大嶽理事、加茂理事（渡辺理事は欠席）が打ち合わせを行い、1998年度総会の前日10月2日（金）の16:30より2時間の記念セッションを持つこと、内容としては三谷顧問、升味顧問に「日本における政治学」といったテーマで記念講演を依頼し、パネル・ディスカッションを行うという方向で検討していること、その後19:00より五十周年記念パーティーを行い、その替わり通例の懇親会は行わない予定であることが報告され了承された。また10月2日の会場としては、総会の行われる同志社大学今出川キャンパスに近い京都ブライトンホテルを会場とする計画が披露され承認された。さらに10月3日の総会後にローウィ IPSA 会長の記念講演を設定する計画が披露され、基本的な方向について了承された。関連して佐々木理事長より記念事業の遂行のために学会から数十万円の拠出が必要となる見通しが示され、拠出の方針が了承された。

3. 1999年度総会・研究会開催校について

馬場常務理事より、國學院大學法学部が1999年度の開催校として決定したことが報告され、承認された。関連して2000年の開催校についても事務局に交渉権限を与えることが了承された。

4. 学術会議に関する件

馬場常務理事から、第17期日本学術会議の会員として、4月15日に本学会推薦の三谷太郎顧問が選出されたことが報告された。

5. 新入会員承認の件

下記の27名の入会が承認された。

浅川博忠、網谷龍介、石田雅樹、岩間陽子、宇田川光弘、浦部浩之、小田原敦、木下淑恵、辰野文理、玉木彰、堤林剣、中北浩爾、中田瑞穂、中村起一郎、西村（鍋島）美香、野々部尚昭、服部龍二、浜田泰弘、濱口學、平田武、福吉真知子、古川暁子、水島治郎、宮下大志、村井良太、安章浩、横田正顕

6. 事務局報告

馬場常務理事より会報発送事務を外部委託したこと、現在のところ問題がないので、これからもこの方式をとることが報告された。新入会員の会費徴収方式の改革に関して、入会申請の時点で会費を預託する方式の具体的な運営方針が示され、若干の意見交換のうえ承認された。また年報の学会買い上げに伴い、年度によっては数十部の学会在庫が発生しているため、研究会の会場で販売することが了承された。

7. IPSA分担金の件

佐々木理事長より、IPSA分担金に関して、当初は現在の1,730ドルを4,640ドルに増額する案が示されたが、交渉の結果、3,000ドルに落ち着いたことが報告され、この額を受け入れる方向で交渉に臨むと方針が了承された。

8. 次回理事会の日程の件

次回理事会を1997年10月4日(土)に成蹊大学で、次々回理事会を10月5日(日)に成蹊大学で開催することが承認された。

1997年度 第2回理事会記録

日時 1997年10月4日(土)午後0時25分から1時45分まで

場所 成蹊大学10号館(東京都武蔵野市)
1996年度第2回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

1. 1997年度研究会の件

小林97年度企画委員長より、97年度研究会午前中の参加者は600人というかつてない盛況になったこと、全ての報告者から論文が100部ずつ提出されたことが報告された。なお、本来は共通論題の論文のみ開催校が100部ずつ増し刷りすべきところ、成蹊大学の好意で、共通論題については500部、分科会については参加予定者の5割増しの数まで増し刷りが行われたことが披露され、企画委員会から開催校に感謝の意が示された。

2. 各委員会報告

(1) 企画委員会

渡辺98年度委員長より、企画委員を、飯島昇蔵(早稲田大学)、飯田文雄(神戸大学)、伊藤彌彦(同志社大学)、後房雄(名古屋大学)、大串和雄(国際基督教大学)、小島朋之(慶應義塾大学)、古城佳子(東京大学)、砂田一郎(学習院大学)、高橋直樹(東京大学)、平野浩(明治学院大学)、御厨貴(東京都立大学)の各会員に委嘱したことが報告され、了承された。

(2) 文献委員会

北住97年度委員長より、学界展望の作業経緯が報告され、現在再校を待っている状態であることが報告された。

加藤(秀)98年度委員長より、現在委員の人選中であり、これまでのところ荒木義修(松阪大学)、伊藤光利(立命館大学)、真山

達志(同志社大学)、米原謙(大阪大学)、寺島俊穂(大阪府立大学)、村上信一郎(中部大学)、細谷正宏(同志社大学)、唐亮(松阪大学)、金子芳樹(松阪大学)、梅津實(同志社大学)、永山博之(広島大学)、大矢根聡(金沢大学)の各会員(唐、金子両氏は入会予定)に委嘱し、数名追加の予定であることが報告され、了承された。

(3) 年報委員会

五百旗頭97年度年報委員長より、現在再校を待っている状態で、年内に刊行の見通しであることが報告された。

北岡98年度委員長より、研究会論文はすでに執筆に取りかかったこと、公募論文は提出を待っている段階であることが報告された。

加茂99年度委員長より、書店との話し合いの結果、形式変更について了承が得られたので、委員会としては特集テーマを「20世紀の政治学」ひとつに絞り、公募論文はそのテーマに関連して募集する方針が報告され、了承された。

(4) 国際交流委員会

大嶽委員長より、アメリカ政治学会との交流に関しては、田中愛治会員を中心に運営されており、開催中の研究会に2名の参加を得たことが報告された。またアメリカ政治学会に例年3名の会員を派遣しているが、そのうちの1名について来年度から公募したいという提案があり、若干の議論ののち、実験的な実施という位置づけで承認された。なおこの件に関して、来年度派遣者の応募締め切りを10月31日にする予定であるため、この後の総会で募集要項を配布し、広く会員に知らせることが報告された。

ECPR との交流に関しては、第1ラウンドの共同研究が成果をまとめる段階に入ったこと、第2ラウンドについて来年度発足を目指して準備中であることが報告された。

韓国との交流では中野実会員を中心に準備が進み、資金のめどがつきつつあること、それ以外のアジアの学会との交流では、来年度研究会に1名の参加を求める方針が報告された。

(5) 選挙管理委員会

的場委員長より、6月末日で次期理事候補選挙の投票を締め切り、7月12日に開票作業を行った結果、20名の次期理事候補が選出され、佐々木現理事長を除く19名の当選者が理事就任を受諾したこと、7月25日に理事長に選挙結果を報告し、その後経費の収支を理事長に報告したこと、本日の報告をもって委員会の任務を終了することが報告され、了承された。選挙で30票以上を得た者のうちの上位20名以内の会員の氏名は次の通り。飯島昇蔵、五百旗頭真、今村都南雄、大嶽秀夫、加藤節、蒲島郁夫、加茂利男、北岡伸一、小林良彰、佐々木毅、下斗米伸夫、新藤宗幸、寺崎修、藤原孝、堀江湛、本田弘、御厨貴、宮村治雄、藪野祐三、渡辺浩（50音順）

(6) 50周年記念事業特別委員会

五百旗頭委員長より、先の理事会で承認された方針に基づき、準備を進めており、12月の理事会までに内容を固める方針であることが報告された。

3. IPSAに関する件

佐々木理事長より8月17日-22日にソウルで行われたIPSA世界大会は、「紛争と秩序」というテーマで盛大に行われたこと、日本からは約80名の参加があり、報告者等として活躍したことが報告された。また同時に開かれた執行委員会及び各国代表者会議で会費改定の件が議論され、日本政治学会が負担する会費が3000ドルになったことが報告され、了承された。また佐々木理事長の後任のIPSA常任理事として、蒲島理事が当選したこと、会長がローウィ氏に

決まったこと、次回のIPSA世界大会は2000年の8月1-6日にカナダのケベック市で開催されることが報告された。

4. 総会・研究会開催校の件

佐々木理事長より、交渉の結果、2000年の開催校が名古屋大学に決定したことが報告され、了承された。

5. 次期理事候補者選任の件

佐々木理事長より、9月13日に次期選出理事候補者が集まり、16名の推薦理事候補者を選出したこと、この結果に基づいて次期理事会の構成員を総会に提案する旨が報告された。

6. 新監事選任の件

佐々木理事長より、飯島昇蔵監事に代わる新監事として千葉真（国際基督教大学）会員を選任したい旨提案があり、承認された。

7. 学術会議研究連絡委員選任の件

馬場常務理事より、理事長が学術会議研究連絡委員として本田理事、蒲島理事、野地理事、馬場理事の4名を選任し、これを学術会議に届けたことが報告された。

8. 新入会員承認の件

下記の19名の入会が承認された。

李静和、深井慈子、波多野澄雄、坂本隆幸、松本或彦、岡本三彦、李利範、藤本眞悟、李鍾元、三上力也、遠藤乾、崔五卿、安岡正晴、高木彰彦、奥健太郎、木部尚志、萱野智篤、為政雅代、巖敏俊

9. 事務局報告

馬場常務理事より、新入会員の会費徴収方式の改革に関して、入会申請の時点で会費を預託する方式が順調に実施されていることと、当初の予算執行計画通りIPSA世界大会への会員派遣費用30万円を支出したことが報告された。

10. 次回以降の理事会の日程の件

次回理事会を1997年10月5日（日）正午から成蹊大学で、次々回理事会を12月6日（土）14:00から大阪で、その次の理事会を1998年3月20日（金）午後にて東京で開催することが承認された。

1997年度

総会記録

日時 1997年10月4日（土）午後1時55分から
午後2時20分まで

場所 成蹊大学会議場

1. 開会挨拶 加藤節理事（開催校・成蹊大学）
2. 開催校挨拶 田中治男成蹊大学法学部教授
3. 理事長挨拶 佐々木理事長

4. 委員会報告

小林97年度企画委員長、渡辺98年度企画委員長、北住97年度文献委員長、加藤秀治郎98年度文献委員長、五百旗頭97年度年報委員長、北岡98年度年報委員長、加茂99年度年報委員長、大嶽国際交流委員長、五百旗頭50周年記念

事業特別委員長、的場選挙管理委員長がそれぞれ報告し、IPSAの件について佐々木理事長が報告した。このなかで大嶽委員長より、来年度アメリカ政治学会への派遣者のうち1名を公募する方針が発表され、要領が配布された。

5. 決算・監査の件

馬場常務理事から1996年度決算について報告があり、石田監事より監査についての報告を受けたのち、承認された。

6. 予算案の件

馬場常務理事より1997年度年度予算案について報告があり、承認された。

7. 次期理事承認の件

佐々木理事長より次期理事選出の経過について報告があり、次期理事として、次の35名が承認された。(順不同)

清末尊大(北海道教育大学)、大西仁(東北大学)、野地孝一(信州大学)、谷喬夫(新潟大学)、辻中豊(筑波大学)、宮崎隆次(千葉大学)、永森誠一(國學院大学)、飯島昇蔵(早稲田大学)、御厨貴(東京都立大学)、宮村治雄(東京都立大学)、小林良彰(慶應義塾大学)、寺崎修

(慶應義塾大学)、堀江湛(杏林大学)、今村都南雄(中央大学)、藤原孝(日本大学)、本田弘(日本大学)、加藤節(成蹊大学)、下斗米伸夫(法政大学)、蒲島郁夫(東京大学)、北岡伸一(東京大学)、馬場康雄(東京大学)、渡辺浩(東京大学)、新藤宗幸(立教大学)、小野耕二(名古屋大学)、梅川正美(愛知学院大学)、梅津實(同志社大学)、河田潤一(甲南大学)、加茂利男(大阪市立大学)、加藤秀治郎(京都産業大学)、大嶽秀夫(京都大学)、五百旗頭真(神戸大学)、市川太一(広島修道大学)、北原鉄也(愛媛大学)、藪野祐三(九州大学)、岩岡中正(熊本大学)

8. 監事選任の件

佐々木理事長より千葉眞会員を監事としたい旨提案があり、承認された。

9. 事務局報告

新入会の方式が変更されたこと、99年度総会・研究会開催校は國學院大學に、2000年度は名古屋大学に決まったことが報告された。

10. 閉会挨拶

加藤節理事

1997年度 第3回理事会記録

日時 1997年10月5日(日)午後0時25分から
0時50分まで

場所 成蹊大学10号館(東京都武蔵野市)

1996年度第3回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

1. 各委員会報告

開催校の加藤節理事と小林97年度企画委員長から研究会開催に際して改善すべき点が提起され、若干の議論ののち、次回の研究会までに何らかの対策を講ずることが確認された。

2. 新入会員承認の件

下記の24名の入会が承認された。

青木一益、田村哲樹、西永亮、菊田真司、堤英敬、土橋貴、村瀬洋一、福沢真一、竹下讓、輪島達郎、滝口太郎、藤田邦子、John Campbell、Thomas U. Berger、畑野勇、佐藤高尚、山下祐一、佐藤公俊、増山幹高、名取良太、羅一慶、早川誠、鳴子博子、三浦まり

3. 事務局報告

12月に発行予定の日本政治学会会報の原稿締切は10月末であることが連絡された。

4. その他

次回理事会は12月6日14:00から大阪で開催することが確認された。

1997年度 臨時総会記録

日時 1997年10月5日(土)午後1時25分から
35分まで

場所 成蹊大学会議場

1. 閉会挨拶

加藤節理事(開催校・成蹊大学)

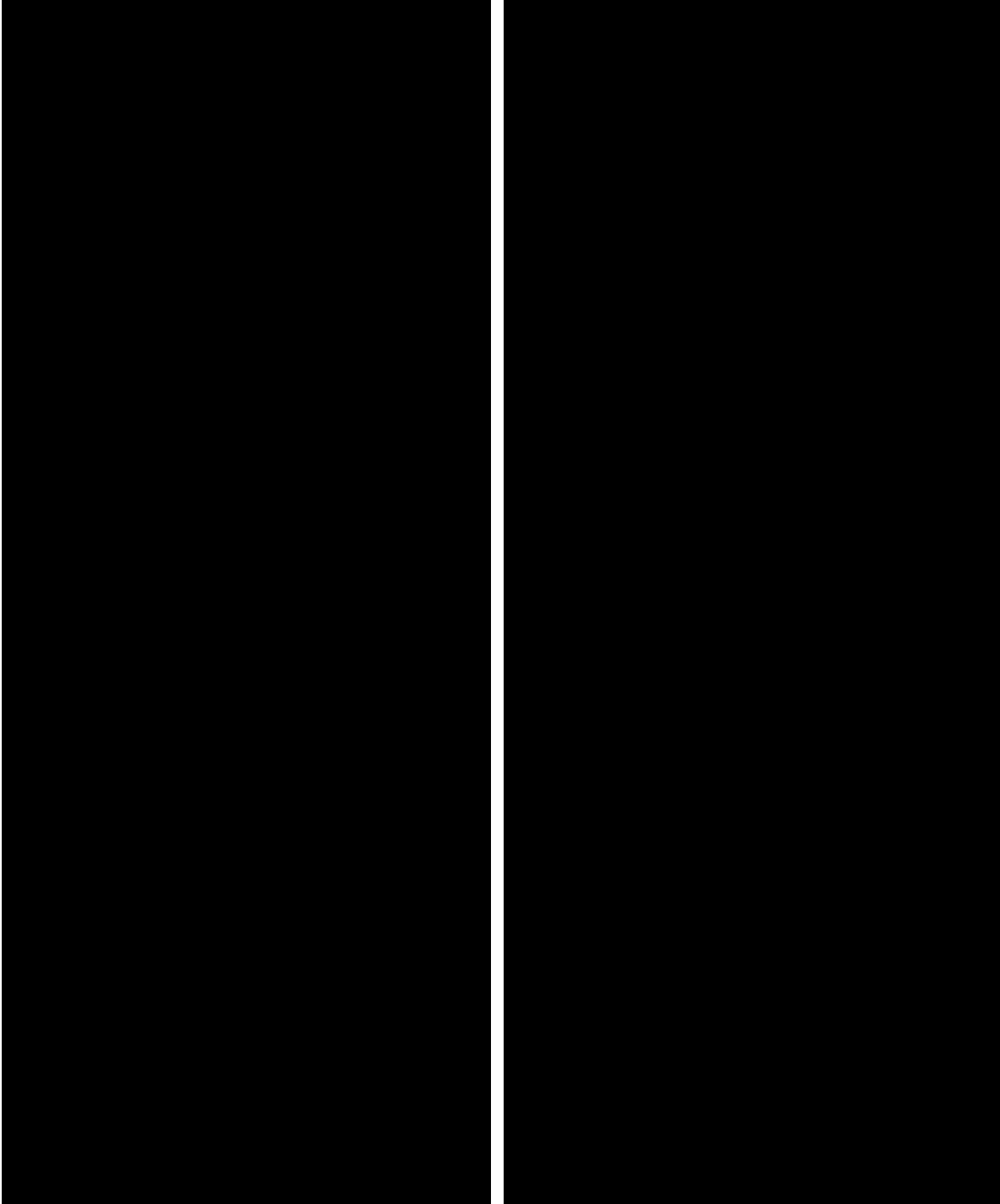
2. 次期理事長決定の件

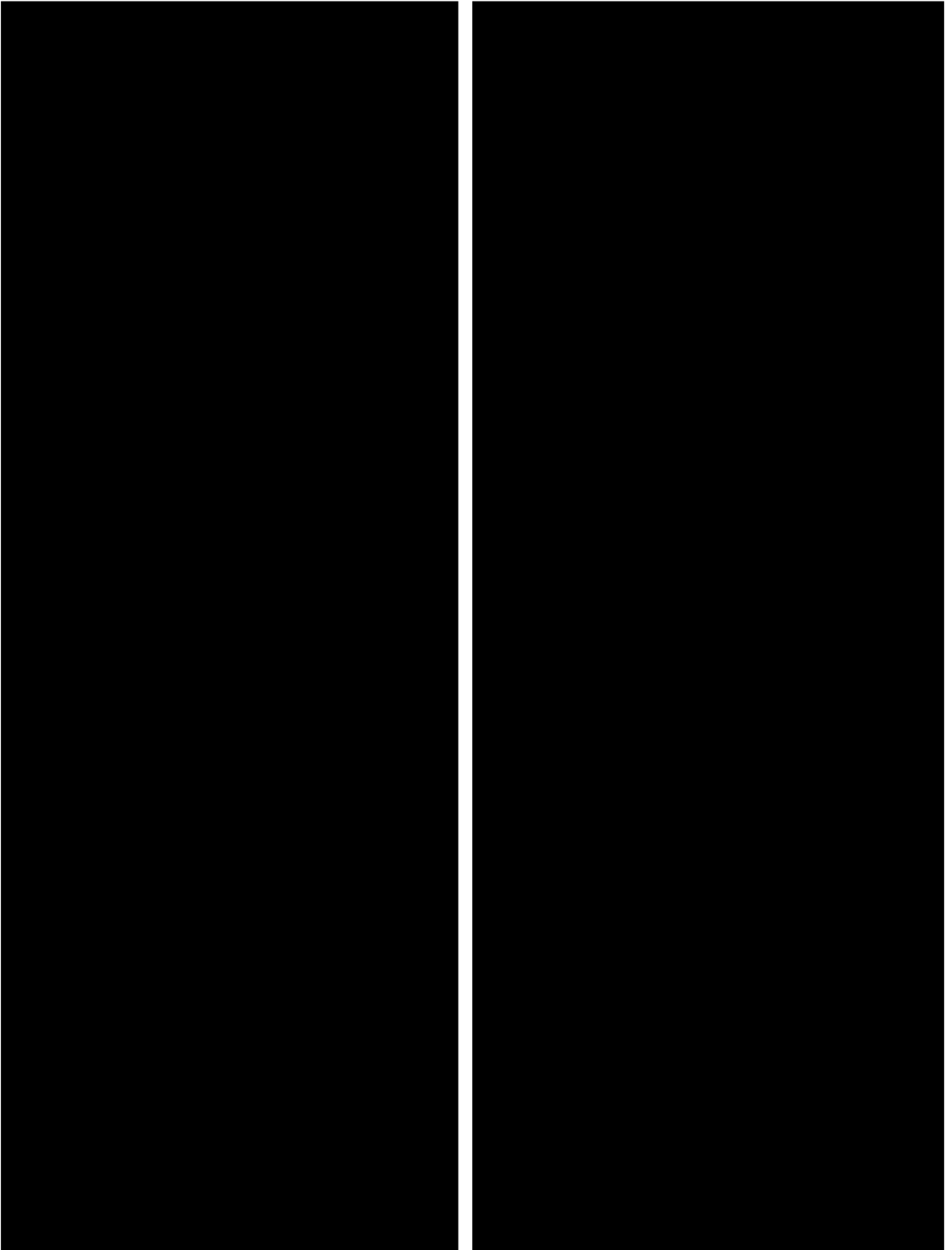
佐々木理事長より、次期理事会において五百旗頭眞理事が次期理事長に選任されたことが報告された。

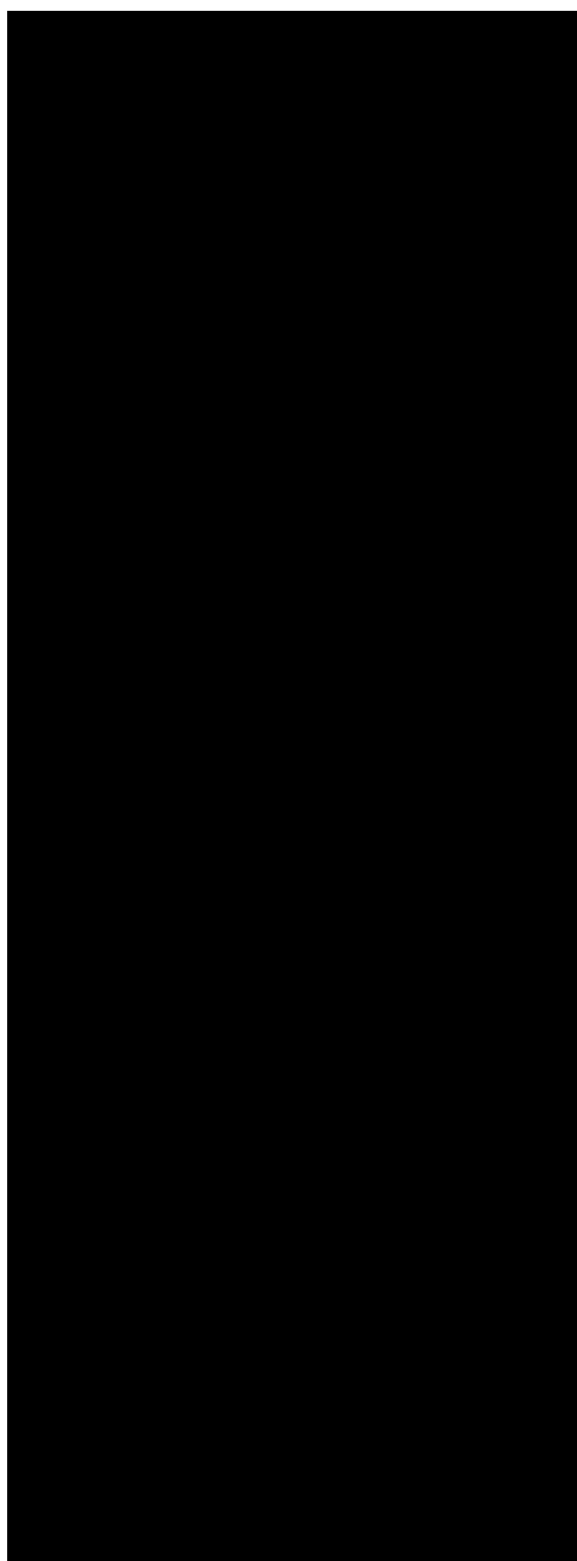
3. 閉会挨拶

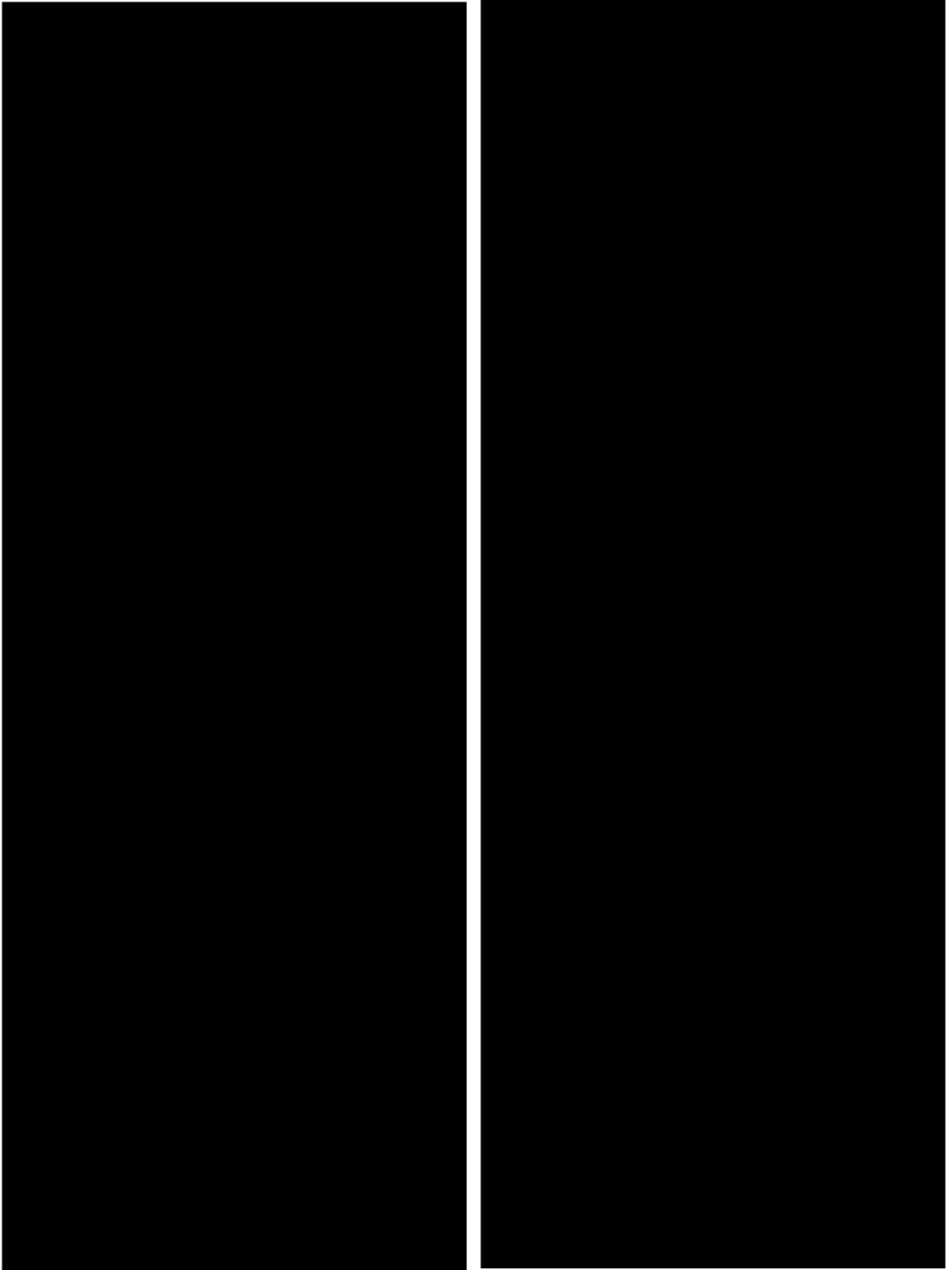
加藤節理事

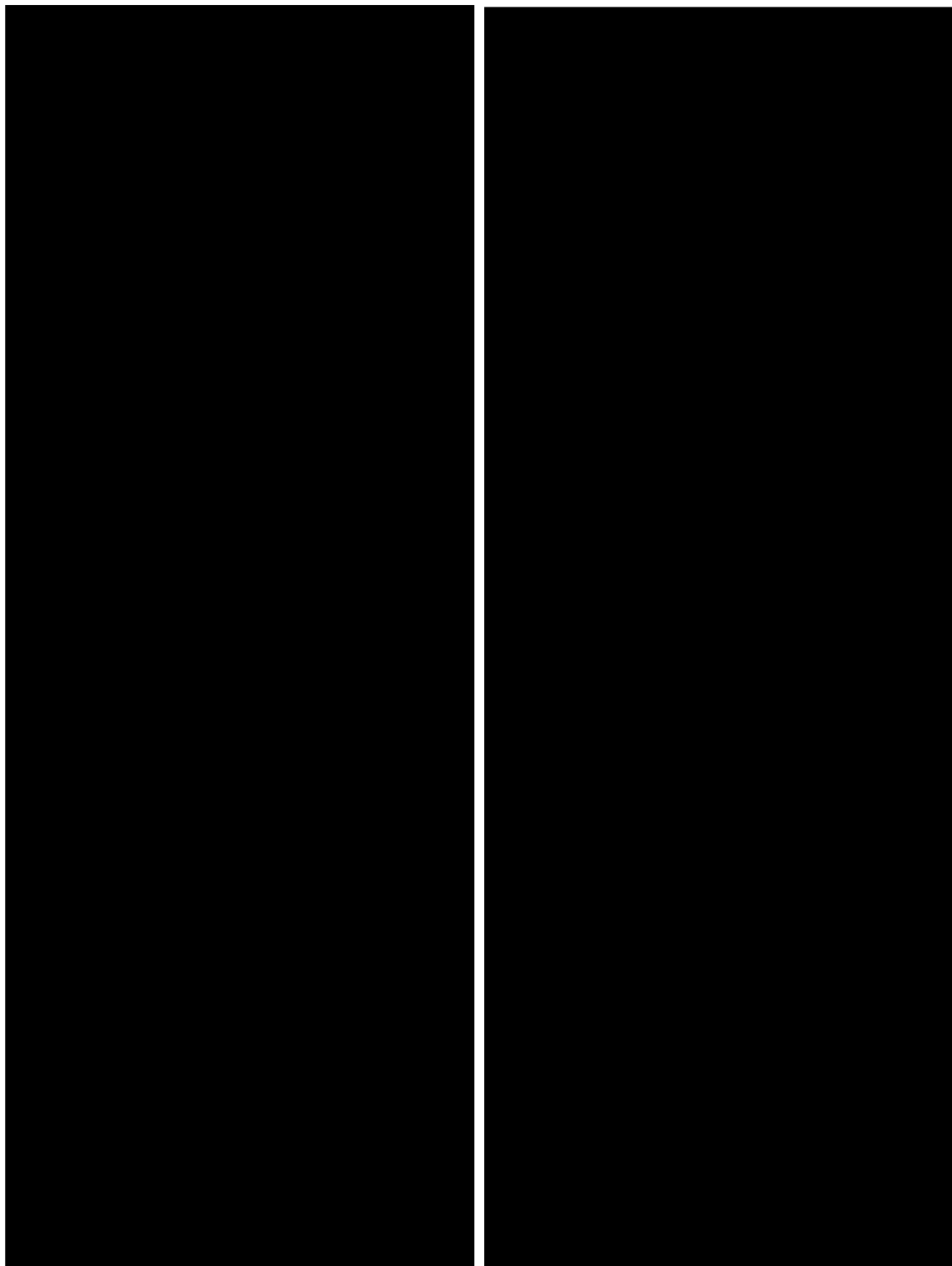
会員の異動 (1997.5.7~11.20)

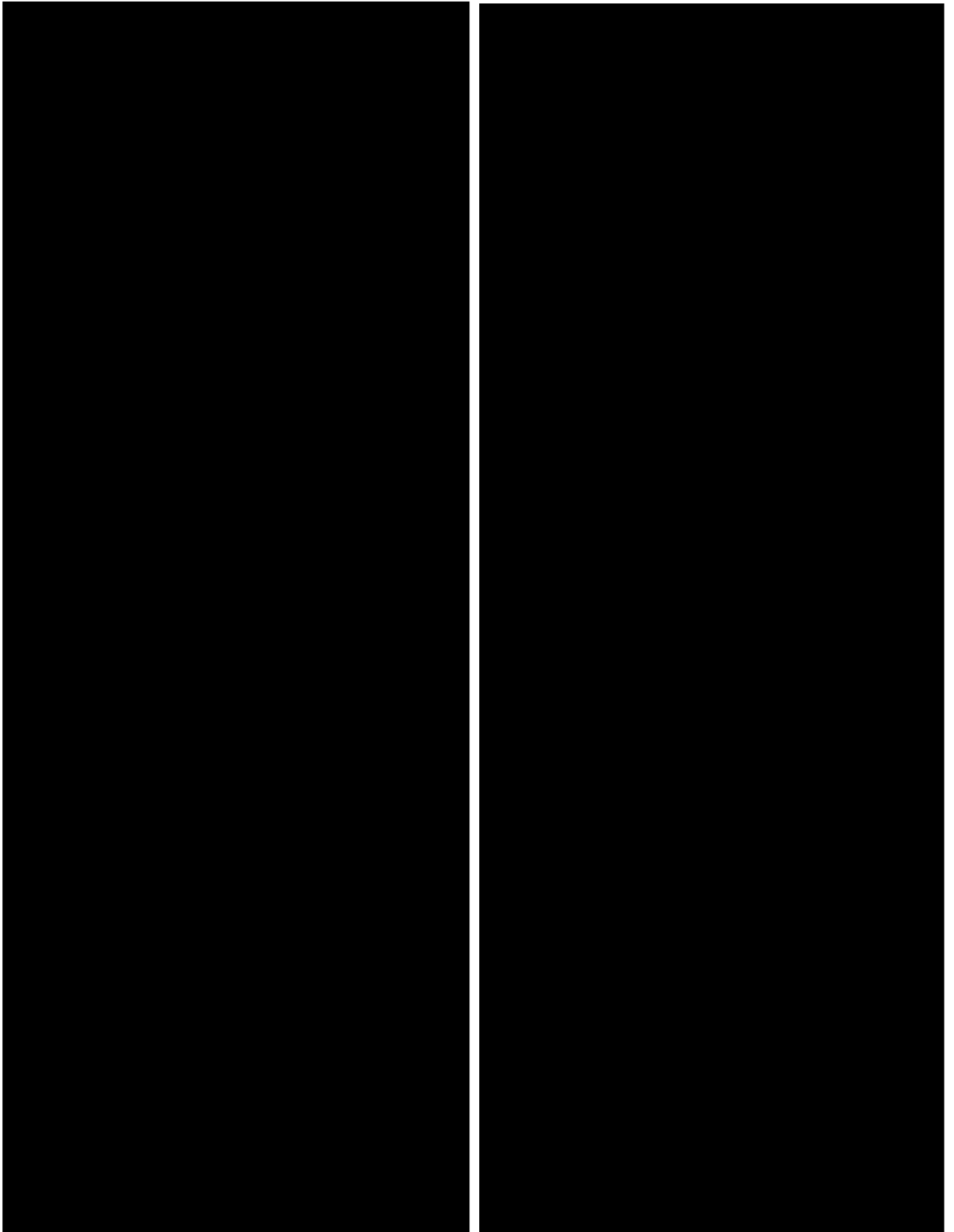


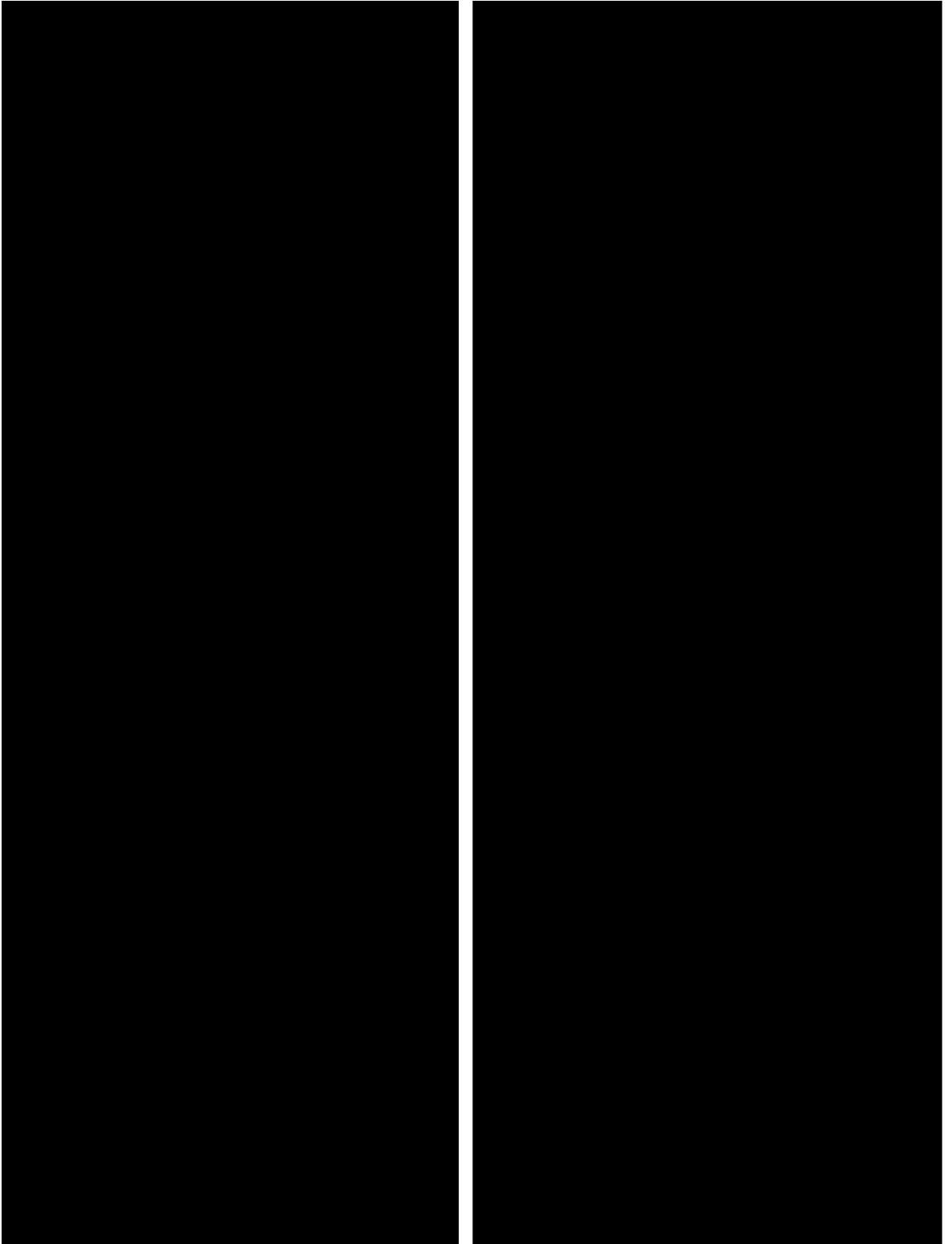


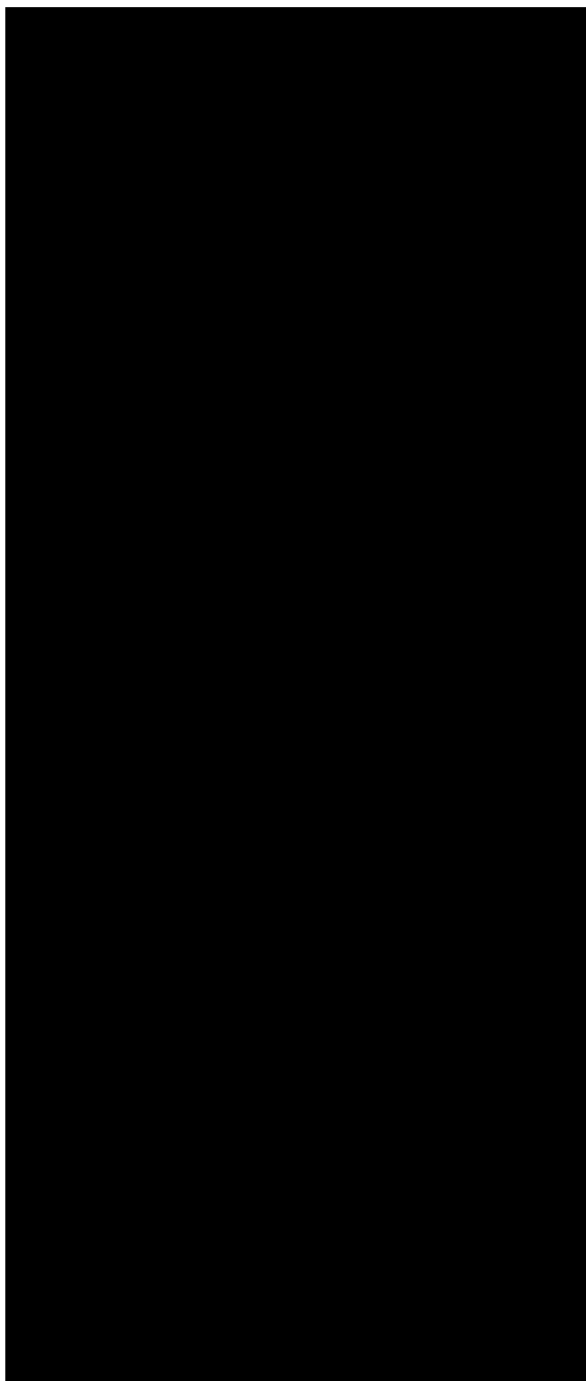












事 務 局 よ り

新入会手続き：年会費は前払いに変更

本年6月の理事会決定に基づき、新入会員承認の手続きが変更になり、入会申請の際に、入会申込書の提出と併せて、初年度年会費を払い込み頂くこととなりました。

このため、初年度年会費をお支払い下さった方のみ入会審査の対象とする新方式を、10月の理事会より実施しております。そこで、新入会ご希望の方には、入会案内・入会申込書と共に郵便振替用紙をお送りいたしますので、入会申込書をご提出いただく際には、郵便振替での初年度年会費の払い込みをお済ませ下さい。また、払い込みの確認には時間を要する場合もございますので、入会ご希望の際は日数に余裕を持って手続きをお進め下さるようお願い申し上げます。詳細につきましては、入会申込書及び入会案内をご覧ください。

なお、お支払い頂く初年度年会費は、正式には預託金であり、理事会承認時（会員資格発効時）を以て学会の財産となります。万一不承認となりました場合は責任をもって直ちに全額お返しいたします。

会費納入についてのお願い

年会費を未だお納め頂いていない会員の方が、若干おいでになります。『年報』の発送や、事務局業務全般にも支障をきたしておりますので、なにとぞ郵便振替にて速やかにご協力のほど、お願い申し上げます。

一般会員は7,500円、院生会員は5,000円ですが、ご不明な点は、お手数でも事務局までファックスまたは郵便にてお問い合わせ下さいれば幸いです。

本号の目次

1. 斎藤真 日本政治学会創立の時 …… 1
2. 99年度年報論文公募について …… 2
3. 99年度研究会企画に関するお知らせ …… 2
4. 研究業績自己申告のお願い …… 3
5. 理事会記録 …… 3
6. 総会記録 …… 6
7. 会員の異動 …… 8
8. 事務局より …… 16

訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

佐藤 毅氏（大東文化大学教授）

1932年生 マスコミ論専攻

佐野 泰彦氏（上智大学名誉教授）

1923年生 中南米政治史専攻

原田 清雄氏（和光大学教授）

1935年生 政治体制論

1997年12月8日

発行 日本政治学会事務局

馬場 康雄

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学法学部研究室内

TEL 03-3812-2111（内）3231

FAX 03-3816-7375

（お問い合わせはできるだけFAXで）

郵便振替番号 00100-8-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 刷（株）ナカヤマ印刷